



いしかわ労福協

第 588 号 2017年 1月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会

発行責任者 西田 満明

編集人 上野 貞彦

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号

電話 (076) 231-1737

FAX (076) 231-1731

<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>

info@ishikawa-rofukukyo.jp

毎月1回 25日発行



謹賀新年

加賀鳶

©石川県観光連盟



石川県労働者福祉協議会
理事長 西田 満明

新年あけましておめでとうございます。2017年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

昨年中は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様にご支援・ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。

石川労福協はこの一年、ライフ・サポートセンターが中心となり、「暮らしの総合サポートセンター」として、「子育て支援事業」「福祉なんでも相談窓口事業」「無料職業紹介事業」「会員事業団体支援」を中心に働く者の生活と福祉

の向上をめざし活動を展開してきました。

しかし、この6年の間に、不安定雇用の非正規労働者の増加などにより格差・貧困問題は深刻化し、いわゆる「ブラック企業」問題が社会問題化するなど、社会情勢は大きく変容しました。このため、結婚したくてもできない人、また、子どもを産み育てることをあきらめざるを得ない人もいるなど、経済的な理由により少子化に拍車がかかっている実態を見なければなりません。

今こそ、労福協等労働者福祉団体が培ってきた共助の輪が必要です。「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会の実現のため、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川 2017 新春の集い

西田 労協協理 西田 満明
（連合石川会長）

石川労福協と連合石川は、共同で2017新春の集いを1月5日（木）に金沢都ホテル「鳳凰の間」において開催した。

新春の集いには、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長をはじめとした自治体首長などの来賓のほか労働者福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンター、連合石川構成組織から315名が参加し、冒頭、一川明宏社中の津軽三味線の力強いパチの響きでスタートした。

西田満明労協協理（連合石川会長）は「昨年は、熊本を中心とする地震、東北・北海道の豪雨により、亡くなられた方々のご冥福を申し上げますとともに、被害に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。我国では大規模な自然災害に対する備えは不可欠であり、防災の備えを確かなものにしていくため、職場や地域で労働運動ならでの役割を果たすことが重要である。次に、2016 春季生活闘争は、すべての働く者の賃



一川明宏社中

金『底上げ・底支え』と『格差是正』の実現が不可欠であるという認識のもと、『底上げ春闘』の旗を掲げた。その結果、過

年度の物価上昇がない中で月例賃金の改善を成し遂げたこと、非正規労働者では昨年を上回る賃上げを実現したこと、企業規模間の賃上げ率の乖離が縮小したことは、『春闘

の歴史の中でも画期的な事といえる。2017 春闘は、昨年の流れを持続させ、引き続き、『底上げ・底支え』『格差是正』に向けて取り組み、さらに社会に広がりを持った運動にしたい。三つ目は、政府・与党の政策運営と働き方改革。安倍政権は『アベノミクスは道半ば』で、さらに加速させると、しかし、3年半の金融・財政政策を振り返れば、金融政策は手詰まり感を見せ、副作用の指摘もある。将来世代に対するツケ回しの加速が懸念されており、今必要なのは将来世代への責任を果たしうる政策である。働き方改革では、安倍内閣は、『最大のチャレンジは[働き方改革]』であるとし、『働き方改革実現会議』を設置し、『同一労働同一賃金』、『長時間労働の是正』、『女性・若者・高齢者の活躍』などを課題として掲げている。連合はかねてから、『働くことを軸とする安心社会』の実現に向け、すべての働く者の雇用の安定、公正な労働条件の確保を求めている。主役は、あくまでも働く者であ



谷本石川県知事



山野金沢市長



和田小松市長

近藤和也民進党石川県連
総支部連合会代表

盛本芳久社民党石川県連合代表



石川県議会議員（未来石川）代表



北尾弁護士

田中美絵子民進党石川県連
総支部連合会副代表



乾杯

るべきで、実効性のある改革の方向性が必要である。四つ目は、政治をめぐる課題。私たち労働組合の目的は『働く者』、『生活者』の暮らしや雇用を守ることであり、実現のため、税や社会保障、雇用・労働問題などの『政策・制度要求』自体が政治活動と直結しており、政治に無関心はあってはならず、来たるべき衆議院選挙には万全の態勢で臨んでいく。最後に、労働者福祉運動の強化。労福協等労働者福祉団体が培ってきた共助の輪、『連帯と相互の支え合いという協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会』の実現に一致団結して取り組みたい。」と新年の挨拶をした。

また、谷本正憲石川県知事が「昨年は北陸新幹線開業効果が持続した1年で、金沢はもとより、県下に多くの観光客が来県した。県内の鉱工業生産指数や有効求人倍率はいずれも全国トップレベルで推移しており、昨年開設した『い



野村連合石川会長代行

しかわ就職・定住総合サポートセンター』も一翼を担っている。昨年に増して県発展へのご協力をお願いするとともに、2017年春季生活闘争の成果を大いに

期待したい。」と挨拶したほか、市長会を代表して山野之義金沢市長から「北陸新幹線開業効果の持続に向け、本物の魅力を前面に出し、経済発展、雇用の安定に向けて展開していくので、本年も一層の力添えを賜りたい。」との挨拶があった。

このほか、来賓の政党代表者の祝辞に続き中川博石川労福協専務理事が奨学金問題の署名活動のお礼と2017春季生活闘争の成功と労働者福祉向上に向けて乾杯を発声して歓談に入った。

歓談中には、和田慎司小松市長、石川県議会派「未来石川」の石坂修一県議会議員、連合石川法曹団の北尾強也弁護士らがスピーチした。

野村昇司連合石川会長代行が「労働福祉の向上と働く者の格差是正などに向けて、共に力を合わせていきたい。皆様のご協力を願う。」と閉会挨拶に続き、西田理事長（会長）の音頭で“団結ガンバロウ”を三唱し、2017年のスタートを切った。



ガンバロウ三唱

これからの行事予定

(1月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
1月25日	水	労福協・LSC 第17回LSC事務担当者研修会	ANA クラウンプラザホテル金沢
27日	金	七鹿羽昨地協、七鹿・羽昨LSC合同2017年新春旗開き	のと楽
30日	月	中部労福協 第4回幹事会(～31日)	三重県伊勢市
2月 3日	金	労福協 第40回研究集会	フレンドパーク石川
16日	木	全国会館協 第2回幹事会(～17日)	神奈川県
21日	火	中部労福協 第5回代表者会議(～22日)	愛知県
23日	木	労福協 第9回理事会	フレンドパーク石川
3月 8日	水	中部会館協 平成28年度第3回幹事会(～9日)	三重県
9日	木	中央労福協 第3回地方労福協会議(～10日)	東京都
10日	金	労福協・LSC 第13回LSC代表者会議	フレンドパーク石川
16日	木	食みどり水NW 幹事会	//



石川県知事
谷本 正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は北陸新幹線の金沢開業効果が持続した1年でした。国内外から多くの観光客が金沢はもとより、加賀、能登にもお越しいただいているほか、東北からの観光客の増加など開業前には予想していなかった効果も出ています。

県内経済については新幹線開業効果もあり、鉱工業生産指数や有効求人倍率が、いずれも全国トップレベルで推移しているなど回復が続けているところです。

こうした中、県政においては新たな「石川県長期構想」を策定し、石川のさらなる飛躍と発展に向けて取り組みを開始しました。本年も、引き続き、「輝く未来へ 幸せを実感できる ふるさとづくり」の実現に全力で取り組んでまいります。

本格的な人口減少時代を迎える中、今後も地域が活力を維持していくためには、新たな視点で社会減・自然減の両面から対策に取り組む必要があります。

貴協議会におかれましても、就業等の各種相談への対応や仕事と育児の両立支援など、本県の労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただいております。心から感謝申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県市長会
会長 山野 之義
(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から県内各市の市政推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北陸新幹線の開業2年目であった昨年もその効果が持続し、多くの方々に県内各地を訪れていただきました。また、首都圏からのアクセスが大幅に改善したことや金沢港へのクルーズ船の寄港回数増加などに伴い、海外からも多くの観光客に来ていただきました。

県内各市では、これらの好環境を活かし、地域経済の活性化に向けた魅力の創出や定住人口の拡大などに特色のある施策を展開するとともに、互いに広域での連携を図り、魅力と活力に満ちた地域づくりに全力で取り組んでまいりますので皆様方のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

北陸の雇用情勢は、有効求人倍率が全国上位で推移している反面、人手不足が続いており、人材の確保と維持のためにも、より働きやすい環境の整備・拡大が急務となっています。

こうした中、女性社員の活躍推進や部下の仕事と生活を応援する「イクボス宣言」を行うなど、働き方改革を進める動きが社会全体に広がりつつあり、私どもも、これらの取り組みを支援するとともに若年者や女性、高齢者や障害のある方の就労支援や処遇改善に取り組むなど、引き続き市民生活の安定に万全を期してまいります。

新しい年が、皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた年になりますよう心からご祈念申し上げますとともに、本年も一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



金沢駅兼六園口 鼓門 ©石川県観光連盟



石川県町長会
会 長 杉本 栄蔵

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成 29 年の新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から各町政の推進に多大なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

さて、私たち石川県においては、一昨年の北陸新幹線の金沢開業以来、景気の面では上向き傾向と言われておりますが、県内各町にあっては、以前に増しての人口減少と人口の高齢化など、極めて厳しい状況が継続しているところであり、現在は、それぞれが策定した地方創生の総合戦略によって、各町の地域活力の維持・向上を図るべく具体施策を実行推進する段階を迎えております。

今後は皆様の協力のもと、地域にある資源を掘り起こし、内需振興や投資・消費・雇用の拡大等の地域経済の活性化とともに、教育・医療・子育て支援や高齢者対策等の福祉施策のほか、定住促進や災害に強い地域づくり等の社会基盤の整備促進等、誰もが活躍できる地域社会づくりに力を尽くしてまいりたいと考えております。

石川労福協並びに関係各位におかれましては、これからの自立する地域行政と誰もが豊かで安心できる地域社会の実現に向け、皆様がお住いの地域の地元創生に対しまして、更なるお力添えを切に願いますのでございます。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会 長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにご協力いただきました約 304 万筆の署名が世論のうねりをつくり、政府は給付型奨学金制度の創設に向けて動き出しました。一歩前進ではありますが、対象者や金額はあまりにも小規模です。今後の予算や法案の審議で少しでもより良い内容に改善し、将来に向けて拡充していく道筋をつけていくことが必要です。若者の未来を支え持続可能な社会とするために、この機を逃さず、みんなの力を結集し、何としても成果を勝ち取りましょう！

いま、世界中で格差と貧困が拡大し、一部の者が富を独占し、中間層も分解され二極化が進行しています。加えて、多様性を否定するような動きも強まり、社会の分断と亀裂をもたらしつつあります。日本においても、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し、孤立が広がっています。今こそ「連帯・協同」に価値を置く協同組合や労働組合が手を携えて真価を発揮し、分断社会を変えていきましょう！



石川門

©石川県観光連盟

2017年 迎春
 (一社)石川県労働者福祉協議会
 理事長 西田 満明
 役職員一同



北陸労働金庫

石川県本部長 柚木 光

新年明けましておめでとうございます。旧年中は北陸労働金庫の事業推進に対し、労福協をはじめ各事業団体、そして各会員組織・推進機構の皆様より多大なご支援ご尽力を賜りました。加えて昨年10月1日に北陸労働金庫は設立15周年という節目の日を迎えることもできました。この間の皆様方のろうきん運動の主体的な推進に心から敬意を表するとともに重ねて厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて昨年もまた世界の政治経済状況は激動の1年でありました。英国のEU離脱を決めた国民投票、米国大統領選挙結果と多くの事前予想が覆される状況となり、年末には隣国韓国で多くの市民の怒りと運動が国会での大統領弾劾決議がなされる事態をも生み出しました。国内株式・為替相場は米国新大統領の経済政策に対する期待からこれも当初予想に反して現時点では円安・株高となっていますが、新大統領誕生の暁には果たして実際にどうなるのか不安定要因は決して少なくはないといえます。

また昨年は北陸労働金庫にとっても試練の年の始まりでありました。日銀が1年前に発表し、2月から発動したわが国経済政策史上初の「マイナス金利」政策は北陸労働金庫を含む金融機関にとってボディブローのように時を経るに従い体力を奪い取るものとなっています。それまでの金融緩和による低金利競争により、本業での貸出金利はここ数年右肩下がりを強いられ、加えてこの「マイナス金利」政策により、余裕資金の運用方策が極めて厳しいものとなっています。北陸労働金庫にはメガバンクはもとより大きな地銀さんのように潤沢な資金もなく体力勝負ではなかなか太刀打ちできません。しかしわたしたちには会員推進機構という他の金融機関にはない優れた組織があります。皆様方からのさらなるご支援・ご指導を武器にこの苦難を何としても乗り越え、勤労者・生活者が創り育ててきた北陸労働金庫の灯を絶やすことなく20年、30年、50年とさらなる歴史を刻んでいきたいと年初に期するところでもあります。

結びに本年は「酉年」であります。本年が皆様にとってまさに飛翔の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



全労済石川県本部

本部長 光林 邦彦

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は「全労済石川」ならびに「石川共済」の事業推進に、格段のご理解とご尽力を賜わり厚く感謝を申し上げます。

さて、昨年は自然災害が多い1年でありました。「熊本県地震」や「鳥取県中部地震」、「福島県沖地震」、「台風や突風」、「集中豪雨」などの発生は、多くの被害と損害をもたらしました。改めて、被災された方々にはお見舞いを申し上げる次第です。これらの災害が発生以降、全国の全労済は一丸となり現場調査や人的支援に取り組み、私たち石川県本部も全力でこれに対応してまいりました。

このような災害の現状を目の当たりにして、私たち全労済の使命とその役割の大きさを、改めてここに痛感するところでもありますし、今後とも被災者、組合員の皆様を目線に立って、しっかりと対応していく決意でございます。自然災害はあってはならないものの、やはり発生することは歴史が証明しております。皆様には万が一に備え、全労済の「住まいる共済」の活用をここにお願ひするものです。

全労済は「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」を理念に共済事業を進めています。人口の減少、少子高齢化、格差、貧困、社会的孤立の拡大等をはじめとした社会構造の変化の中で、労働者や市民の暮らし全般にかかわる支援（サポート）事業の重要性は、これからはますます高まると思われれます。そのことから言えば、労働者自主福祉運動の一翼を担う「全労済」の役割は大きいと自負しております。

このような中、全労済は今年で創立60周年を迎えました。発足当時は、労働者（労働組合）にとっては厳しい社会環境であり、労働者が自らつくった「共済事業（組織）」としてこれまで大きく成長してきました。全労済はこの60周年を節目として、今一度労働者自主福祉運動の原点に立ち返り、これまで組合員とともに歩んできた歴史を糧に、これからも組合員、会員の「共感・参加・信頼」を得て、より魅力的な「保障の生協」となるべく、役職員一丸となって様々な課題に取り組んでいきます。

本年度は「住まいる共済」、「団体生命共済」、昨年2月に制度改定となった「マイカー共済」、「自賠責共済」や「こくみん共済」を重点共済と位置づけ取り組んでおります。加えて、「離・退職者対策」、「新入組合員・若年層対策」を進め、産別や連合・労福協・ライフサポートセンターとの連携を図りながら、北陸労働金庫・指定整備工場・各会員生協における「共済代理店」とともに、推進活動を強化して参ります。組合員・協力団体の皆様の絶大なご理解とご協力をお願いいたします。

本年が皆様にとって健康で、良い1年になります事をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



治部煮

©石川県観光連盟



(財)石川県労働者信用基金協会
理事長 宮下 亮

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は石川県労働者信用基金協会が取り組む諸事業に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、当協会の事業概況として2016年度決算において、ほぼ計画どおり「増収増益」の結果を得ることができました。経常収益では保証料や受取損害金が前年同期比3,024千円増加したことから合計で前年同期比3,126千円増の96,476千円となりました。経常費用では前年大きく増加した貸倒損失が前年同期比29,235千円減の4,117千円と大幅に減少したことが影響し、前年同期比25,286千円減の50,674千円となりました。最終的に当期一般正味財産の増減は前年同期比25,213千円増の59,257千円となり、着実な成果を挙げることができました。

業務内容として特長的なものは有担保ローンの大幅な伸びが好影響を及ぼしたことです。新規保証実行で住宅ローン(有)が過去5年間で最大の伸びを示している事が大きく寄与しています。北陸労働金庫石川県本部と各営業店の多大なる努力の成果だと厚く感謝申し上げます。今後も様々な面でさらなる連携強化をはかり、北陸労働金庫の保証機関として一層の活性化につなぎ、事業目標を達成するとともに安心・安定した事業運営に取り組めます。

今年の干支は酉年です。本来ならば酉年にちなみ大きく羽ばたく年にしたいと言いたいところですが、業界全体を見るとマイナス金利政策による厳しい環境にある状況です。こんな時こそ地道で着実な事業運営に取り組んでいく所存です。皆さま方にとりましてご健勝で活躍の年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



石川県生活協同組合連合会
会長理事 横山 和男

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は石川県生活協同組合連合会に対しまして、労福協はじめ各事業団体、自治体の皆様には多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在石川県生協連は8つの会員生協が加盟し、30万人を越す組合員の組織(体)になっています。会員生協は、組合員の要望に応じてそれぞれの専門分野における事業に取り組むとともに、行政や諸団体と協力・協同・連携して、県民が安心して住み続けられる地域づくりに貢献する活動を進めています。

近年は自然災害が非常に多く、昨年4月に熊本地震が発生したほか、一連の台風によって多くの被害が発生しており、防災・減災の取り組みがますます重要となってきました。生協連と会員生協は石川県および19市町すべての自治体と災害時における支援協定を締結しており、物資の供給などを行うとともに災害が起こったときも事業を継続し、一日も早く安心して暮らせる地域を取り戻せるよう日頃からの備えを進めています。また、会員生協では県内全自治体と締結した「地域見守り協定」により、高齢者の安否確認などの活動を進めています。

格差の拡大や貧困の固定化が進み、奨学金に頼らなければ大学などに進学できず、いまや大学生の2人に1人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負っています。昨年は未来を担う若者を社会全体で支えるため、労福協とともに給付型奨学金制度創設・拡充をもとめる署名に取り組みました。またあらたに、生活困難に陥っている家庭やDV避難者、ホームレス支援団体、子ども食堂などに余剰食品を手渡すフードバンクについて地域団体、社会福祉協議会などとともに学習し、調査・検討を進めていきたいと考えております。

今後とも会員生協のもつインフラを活かして、行政や地域の諸団体の皆さまと連携し、県民のくらしと地域に役立つ活動に積極的に取り組んでいく所存です。

本年も何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

一般財団法人 **石川県労働者信用基金協会**

金沢市西念3丁目3番5号
TEL (076) 261-4347

恭賀新年



石川県生活協同組合連合会

金沢市古府2丁目189番
コープいしかわ古府センター2F
TEL (076) 259-5962



石川県勤労者体育協会
会 長 高 芳晴

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃、本協会の事業推進に、協会役員はじめ県内自治体、各競技団体、企業、労働団体の皆様方に、温かいご支援、ご協力を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

昨年、本協会は、設立50周年という大きな節目の年を迎えることができました。改めまして、これまでお世話いただきました多くの皆様方に心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、リオデジャネイロ・オリンピックにおいて、津幡町出身の川井梨紗子選手がレスリング女子63キログラム級で金メダルを獲得するなど日本選手団は、「金メダル」12個を含む史上最多の41個のメダルを獲得し、私たちに大きな感動を与えてくれました。

本協会では、日本で唯一の勤労者のスポーツ団体という特徴を生かし、関係団体と連携を深め、誰でも気軽に参加できる大会を開催し、職域や地域に生涯スポーツの普及、推進を図るとともに、健康づくりにも貢献して参ります。

特に、本年は、能登島ロードレースが第20回という節目を迎えます。さらに、協会設立50周年記念誌の発行など重要な事業が山積みしています。重ねて、関係団体のご支援とご協力をいただき、事業を展開して参りたいと思っています。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



石川県勤労者文化協会
会 長 大樋 陶冶齋

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。労働者福祉協議会の皆様をはじめ、連合石川、各事業団体の皆様には日頃から勤労者文化協会へのご厚情に感謝申し上げます。

昨年は、第66回勤労者美術展をはじめ早春書画・生花展、写真サロン展、絵画・陶芸展を盛大に開催することができました。あらためて皆様のご協力に御礼申し上げます。とりわけ、金沢21世紀美術館で開催しました第66回勤労者美術展は、アマチュアの方々の登竜門として定着し、259点もの力作が出品されました。また、開催中は好天にも恵まれ石川県庁での特別展を含め、訪れた皆様は3,000名を超す盛況振りでした。今後とも、石川県内における芸術・文化の裾野を広げていくために精進してまいります。

さて、北陸新幹線開業後、多くの観光客が石川県を訪れております。石川県は、伝統と芸術・文化が町と一体化した古式豊かな地です。石川らしい文化の香り漂うまちとして名に恥じないよう活動していきます。

勤文協は、生涯福祉の向上をめざした労福協の事業の一環として地域貢献を意識しつつ、裾野の拡大と質の向上を目指し各種展示会を中心とした芸術・文化の向上に寄与していく所存です。

本年も勤文協にご支援ご協力を賜りますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

2017 第51回 石川県勤労者 冬季体育大会

開催地	開催日	種目	場 所	申込締切日
金沢	平成29年2月5日(日)	卓球C3A3B種式の部	金沢市中央市民体育館	1月23日(月)
金沢	平成29年2月26日(日)	卓球C3A3B種式の部	金沢市中央市民体育館	2月13日(月)
金沢	平成29年3月19日(日)	卓球	いしづか総合スポーツセンター	3月6日(月)
金沢	平成29年3月5日(日)	ソフトバレーボール	いしづか総合スポーツセンター	2月20日(月)
白山	平成29年3月5日(日)	バドミントン	若宮公園体育館	2月20日(月)
金沢	平成29年1月29日(日)	バスケットボール	藤森ふれあい体育館	1月23日(月)
野々市	平成29年2月5日(日)	バスケットボール	野々市市民体育館	1月23日(月)
内灘	平成29年2月12日(日)	バスケットボール	内灘町総合体育館	1月23日(月)
白山	平成29年2月19日(日)	バスケットボール	若宮公園体育館	1月23日(月)
白山	平成29年2月26日(日)	バスケットボール	若宮公園体育館	1月23日(月)
金沢	平成29年3月12日(日)	バスケットボール	金沢市中央市民体育館	1月23日(月)
津幡	平成29年3月19日(日)	バスケットボール	津幡運動公園体育館	1月23日(月)
金沢	平成29年3月26日(日)	バスケットボール	金沢市中央市民体育館	1月23日(月)

登録ホームページ URL: <http://www.shikaworkersports.jp/>

主催

石川県勤労者体育協会
〒920-0202 石川県金沢市三丁目3番5号
TEL: 076-222-4444 FAX: 076-222-4555

後援

金 沢 新 報 社
石 川 県 労 働 者 協 会
石 川 県 労 働 者 福 祉 協 議 会
石 川 県 勤 労 者 福 祉 協 議 会

入場無料

第47回石川県勤労者 早春書画・生花展

開催日 2017年2月2日(木)～5日(日)
午前10時～午後6時(最終日 正午まで)

会 場 しいのき迎賓館 ギャラリーA及びB
※特別展 2月9日(木)～2月12日(日)
野々市市情報交流館カメラア
3Fギャラリー

主 催 石川県勤労者文化協会
後 援 石川県労働者福祉協議会、北國新聞社
北陸放送、野々市市



NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

1956年「もはや戦後ではない」との流行語ではじまった高度経済成長は、「東洋の奇跡」ともいわれました。それは戦後にはじまったブレトンウッズ体制の固定相場制の下での経済成長でした。

しかし、1971年8月のニクソンショック、1973年に本格化した為替市場の固定相場制から変動相場制への移行、同年10月に勃発した第四次中東戦争がもたらしたオイルショック、こうした3年間の出来事はその後の国際経済と国際政治に大きな影響をもたらしました。自由主義市場原理の台頭、日本経済のバブル、ベルリンの壁崩壊、アジア通貨危機、世界貿易センター爆破事件、リーマンショック、イラク戦争、アフガニスタン紛争、イギリス EU 離脱、トランプ大統領就任、TPP 等々、これらの出来事の根本的原因は、1971年から73年の3年間の転換に求められます。

今日の世界秩序の混沌とした状況は、今後ますます深刻さを増すことが予想されます。

私たちの国に起こっている変化の波は、こうした国際社会の変化の波と無縁ではありません。そろそろ成熟した経済にふさわしい「大人の国」にならなければなりません。見せかけの「アベノミクス=円安・株高」は、マネー資本主義の終焉を物語っています。健全な実体経済のもとでこそ、労働者の安定雇用と所得保障が生まれ、国民としての社会的負担が可能となるのです。

今年は、どのような国づくりを目指せばよいのか、20世紀の反省をもとに考えなければならない大切な年になると思います。「反省と寛容」を心がけ、「すべての人々が身の丈に合った幸福」を築くことができる年でありますように祈念します。

NPO 法人 いしかわ介護ボランティアセンター



金沢市西念1丁目12番22号(労済会館2F)
電話(076)222-3337



日本労働組合総連合会石川県連合会
会 長 西田 満明

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

私たち働く仲間を取り巻く環境は、不確実さが増している世界の動きも含め、不透明感が漂い厳しい環境がつづくと思定しなければなりません。

そのような中、経済の自立的成長、社会の持続性を確かなものとするためにも、すべての働く仲間の「底上げ・底支え」と「格差是正」が必要不可欠と考えています。

私たちは、「働くことを軸とする安心社会」「7万連合石川」の実現をめざし、2017春季生活闘争を勝利し、連合石川の「政策実現」に向けた政治活動を強化していく所存でございます。

連合運動への理解と共感の輪を広げるべく、それぞれの立場で強く発信・行動していきましょう。

本年も、石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご活躍を祈念申し上げます。



本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。

珠洲・能登地域LSC	会 長	谷 良治
輪島・穴水地域LSC	会 長	赤田 実
七尾・鹿島地域LSC	会 長	角三 外弘
羽咋地域LSC	会 長	中條 忠
河北地域LSC	会 長	安江 秀和
金沢地域LSC	会 長	綿 征一
白山・野々市地域LSC	会 長	油 省三
小松・能美地域LSC	会 長	古田 政敏
加賀地域LSC	会 長	山本 哲朗

第8回理事会



石川労福協第8回理事会が、12月21日(水)にフレンドパーク石川において開催された。

西田満明理事長の開会挨拶につづき、奨学金問題やセーフティネットの強化、子どもの貧困対策などの政策要求等を推し進めてきた2017(平成29)年度自治体要請の一連行動が、12月6日の金沢市長要請を最後に、県内すべての自治体を実施したこと、第15次の蘇州市総工会業務考察訪日団の来日における交流30周年記念行事やその対応の終了、ライフ・サポートセンター研修会、福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議の実施などの報告、また、福祉なんでも相談窓口、ジョブいしかわ、子育て支援ネットの取り組み状況などの報告がされた。

協議事項では、2017年度活動方針(案)が提起され、2017年1月末までの意見等の集約を経て、予算案とともに次回理事会において成案として提案し、審議の上、2017年度活動方針・予算として決定することとした。

また、2017年1月5日(木)に連合石川と合同で「2017新春の集い」を、2月3日(金)に石川労福協第40回研究集会をそれぞれ開催することを確認した。

研究集会は、昨年につき奨学金問題を主なテーマとするものの、より身近な内容とするため、パネルディスカッション形式のものとし、来春に向けた取り組みを決定した。

生活底上げ・福祉強化キャンペーン街宣行動

石川労福協は、連合石川の「クラシノソコアゲ」キャンペーンに歩調を合わせ、「2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の街宣行動を石川県内で実施した。

12月14日(水)には、金沢市香林坊と武蔵ヶ辻において、連合石川の街宣車に乗り込み、西

田満明連合石川会長(石川労福協理事長)、富瀬永石川県議員、田中美絵子民進党石川



県連副代表とともに中川博石川労福協専務理事が、奨学金問題の改善を訴えた。

当日は、この時期らしい寒い雨模様の天候であったが、師走で多くの方が街を行き来する中、「今の奨学金制度は厳しすぎる。何とかしてあげなければならない。」と問題視する方もおり、街宣活動の効果が少しは見えた。

歩道では奨学金問題を訴えるティッシュを配布し、広報に努めた。

街宣行動は、翌15日(木)には輪島、珠洲、穴水、能登を、19日(月)には七尾、羽咋、志賀を、20日(火)には白山、野々市、小松、加賀においても行った。

少しでも多くの方に、現行奨学金制度の改善の必要性を知ってもらい、世論の大きな流れとなるよう取り組みを継続していきたい。

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク

第11回定期総会

食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、12月16日(金)フレンドパーク石川において、第11回定期総会を開催した。



定期総会には、協力団体及び役員等約30名が参加し、村上睦幹事による挨拶で開会され、上野貞彦幹事が議長となり議事を進行した。西田満明代表の主催者代表挨拶に続き、亀喜正事務局長が2016年度活動報告及び会計報告を行い、松浦政雄監事が会計監査報告を述べて活動の総括を了承した。引き続き、亀喜事務局長が2017年度活動方針及び予算案を提案、また、2017年度役員体制について提案し、満場一致で承認した。

特別報告として、澤信俊副代表が「これまで取り組んできたクヌギ植林は、菊炭としての製品化に目途が立ち、茶道家から受注されるまでとなった。植林から育林への移行も見え始め、我々の活動によろしく光明がさしてきた。今後とも活動を継続していきたい。」と報告し、ふれあい林業としての地道な活動の成果に参加者より拍手が為された。

議長降壇に続き、中川博副代表が「ふれあい林業の取り組み成果を励みとし、活動を継続していきたい。」と挨拶して締めくくった。

餅つきボランティア

さわやかU (NPO法人いしかわ介護ボランティアセンター) は、12月17日(土) 金沢市打木町の「聖ヨゼフ苑作業



所」において、年末餅つきボランティアを25名のボランティアで開催した。

当日は時雨模様の天候だったが、午前9時過ぎから施設のテラスで準備を進め、9時30分頃には、蒸しあがったもち米を臼と杵を使って搗きはじめた。施設利用者も杵を持ってヨイショヨイショの掛け声に合わせてテンポ良く餅を搗く体験をした。

今回は、10臼を参加者と施設利用者で暫くの間に搗きあげ、できたての餅は、ぜんざいにしたり、大根おろしや黄な粉、餡子を付けて美味しく召し上がってもらった。

昔ながらの年末の恒例行事、施設利用者も自分らで搗き上げた餅を美味しく頬張ってくれたものと思う…。

加賀地域LSC

第8回親子・お友達ケーキ作り

加賀地域LSCは、12月10日(土)に「第8回親子・お友達ケーキ作り」をセミナーハウス「あいりす」にて、20組44名の参加で開催した。

加賀地域LSC 御館次期事務局長の挨拶の後、講師のブーランジェリー・カナエの金榮先生からレクチャーいただき、親子で力を合わせて

の生クリームの泡立てと、スポンジケーキを2枚にスライスする作業に取り掛かった。

次に、生クリームとスライスした苺をサンドし、周りを生クリームで綺麗に塗り、土台を完成させた。

最終工程に移り、完成した土台に、マジパン・苺・生クリームで思い思いにデコレーションし、各組ともケーキを完成させた。

手慣れた親子は、先生の見本を待たずに仕上げたり、中には持参の回転台を使い、まるで先生が作ったかのようなケーキもあった。また、出来上がったケーキを前に記念写真を撮るなど、楽しそうな様子が伺えた。

日頃、親子で調理をする機会が少ない中、短時間ではあったが、親子のふれあいが持てた有意義な一日となった。

加賀地域LSC 事務局長 永井 達也

珠洲・能登地域LSC

地域貢献活動

珠洲・能登地域LSCは、12月20日(火)に社会福祉法人おとり会「就労継続支援センターおとり」(能登町宇出津)へ、会員の方々から提供いただいた綿衣類(古着)やタオルの寄付をした。



当施設では、工場で使う油拭き用の雑巾「ウエス」を作るための材料が不足しており、今回の寄付をとっても喜んでいただいた。このウエスの製造の他、いろいろな作業にて、障がいを持つ方の自立を助ける訓練を行っている。

今回は、初めての試みの活動だったが、大変喜んでいただき、今後もこの活動を継続していく。また、毎年恒例の老人福祉施設への年末タオル配布も、会員の協力により約900枚集まり、同日6施設を訪問し寄付した。

珠洲・能登地域LSC 事務局長 加藤政道




コンビニATMで24時間使え、
ATMお引出し手数料実質0円で
使えるキャッシュカードがいいね。



のATMは365日、24時間ご利用いただけます！
※ 一部設置していない店舗や営業時間などによりご利用いただけない時間帯がございます。



ZENROSAI NEWS

**全労済の
「生活保障設計運動」を、
あなたとご家族の
最適な保障づくりに
お役立てください。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

